



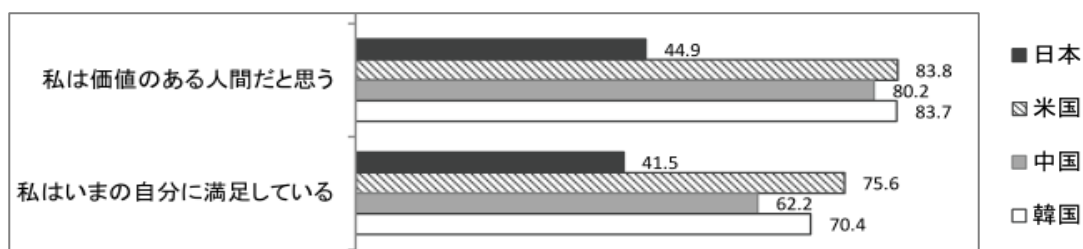
自分や友達のよさを見つけよう

校長 田名部 和美

「ドラえもん」に登場するのび太君はどんな印象ですか？

のび太君のイメージといえば、根気がない、ケンカが弱い、勉強もスポーツも苦手、泣き虫…お母さんやドラえもんからもよく批判されています。しかし、のび太くんには良い面がたくさんあります。正義感が強く、誰かを助けるために勇気を振りしぼって活躍する姿もあります。ジャイアンとスネ夫にいじめられても、「なにくそっ」と反発する精神も旺盛で、嘘がつけない正直な性格、そしてかなりなポジティブ思考です。

4日からの人権週間に向けて、「自分や友達のよさを見つける」ことについて話をしました。「自分のよさを見つける」ということを子どもたちはどのように捉えるのでしょうか。私自身のことでいうと、自分のよさを問われると、なんとなく気恥ずかしくて堂々と答えられるものがありません。逆に、自分の欠点は数多く上げられます。それはなぜなのか？自分が子どもの頃は、いけないところばかりを指摘され、それを直すことを優先してきました。親や先生から叱られないように過ごしていた気がします。最近の話でも、日本人は諸外国に比べ自己肯定感が低いというデータもあります。この原因の一つとして、幼少期の環境が挙げられています。自己肯定感は、周囲の大人がしっかり話を聞いてあげなかったり、挑戦した過程ではなく結果でしか判断しなかったり、必要以上に厳しいしつけをしたりすると、「自分は価値のない人間なんだ」「大事にされていないんだ」という考えが子どもの中に根付いてしまうそうです。



(国立青少年教育振興機構 2018年「高校生の心と体の健康に関する意識調査」より抜粋)

これから先の未来は、自分のよさを見つけ、それを自分の強みとして伸ばしたり広げたりすることが必要とされています。子どもたちのもっている今の「よさ」を周囲の大人がたくさん見つけ、認めることから、子どもが自分の「よさ」を知り、それを更に伸ばしたり増やしたりする態度が育ちます。自分の「よさ」を知ることで、友達の「よさ」への思いも高まっていくはずで、自分の「よさ」を大切に、友達の「よさ」をたくさん見つけ、もっともっと輝ける『かなっ子』を育てていきたいと思います。